

パラグアイ主要経済指標(4月)

I 為替相場

(1) 対ドル(Gs/US\$)

4月の対ドル為替レート(Gs/US\$)は5,475Gsとなった。なお、2016年4月以降、変動幅が小さい。

(2) 対ユーロ(Gs/EURO)

4月の対ユーロ為替レート(Gs/EURO)は6,990Gsとなった。2016年5月以降、変動幅が小さい。

II 消費者物価指数

(1) 消費者物価指数(総合)

4月の消費者物価指数(総合)は0.1%となり、年間累計値は1.4%となった。

(2) コア・インフレ

4月のコア・インフレ率は0.0%となり、年間累計値は1.1%となった。

III 貿易

輸出総額(4月)は、対前年比-0.2%となった。(大豆種子-3.0%、大豆油-3.4%増、大豆粉20.8%、穀物類-21.8%、牛肉1.2%増、自動車部品(ハーネス)28.4%増、電力7.4%増、その他-13.4%増となった。)

IV 外貨準備高

4月末の外貨準備高は、約8,841百万米ドルであった。

V 対外累積債務

3月末の対外累積債務は、約5,616百万米ドルであった。

VI 最低賃金, 失業率

VII 実質GDP・名目GDP・経済成長率

VIII 4月のトピックス

- 1 ヒメネス財務大臣の台湾訪問
- 2 第二弾「アウト・ファミリアル(ファミリーカー)」プログラム開始
- 3 信用格付会社フィッチ社は次期政権発足を前にパラグアイをポジティブに評価
- 4 約80万人の労働者が中小企業(零細含む)に従事 ILO報告
- 5 粉ミルクの輸出増加

I 為替相場(パラグアイ中央銀行発表)

1 為替レート概要(月平均値, 売値)

(1) 対ドル(Gs/US\$)

4月の対ドル為替レート(Gs/US\$)は5,475Gsとなった。なお、2016年4月以降、変動幅が小さい。

(2) 対ユーロ(Gs/EURO)

4月の対ユーロ為替レート(Gs/EURO)は6,990Gsとなった。2016年5月以降、変動幅が小さい。

(3) 対リアル(Gs/REAL)

4月の対リアル為替レート(Gs/REAL)は1,601Gsとなった。

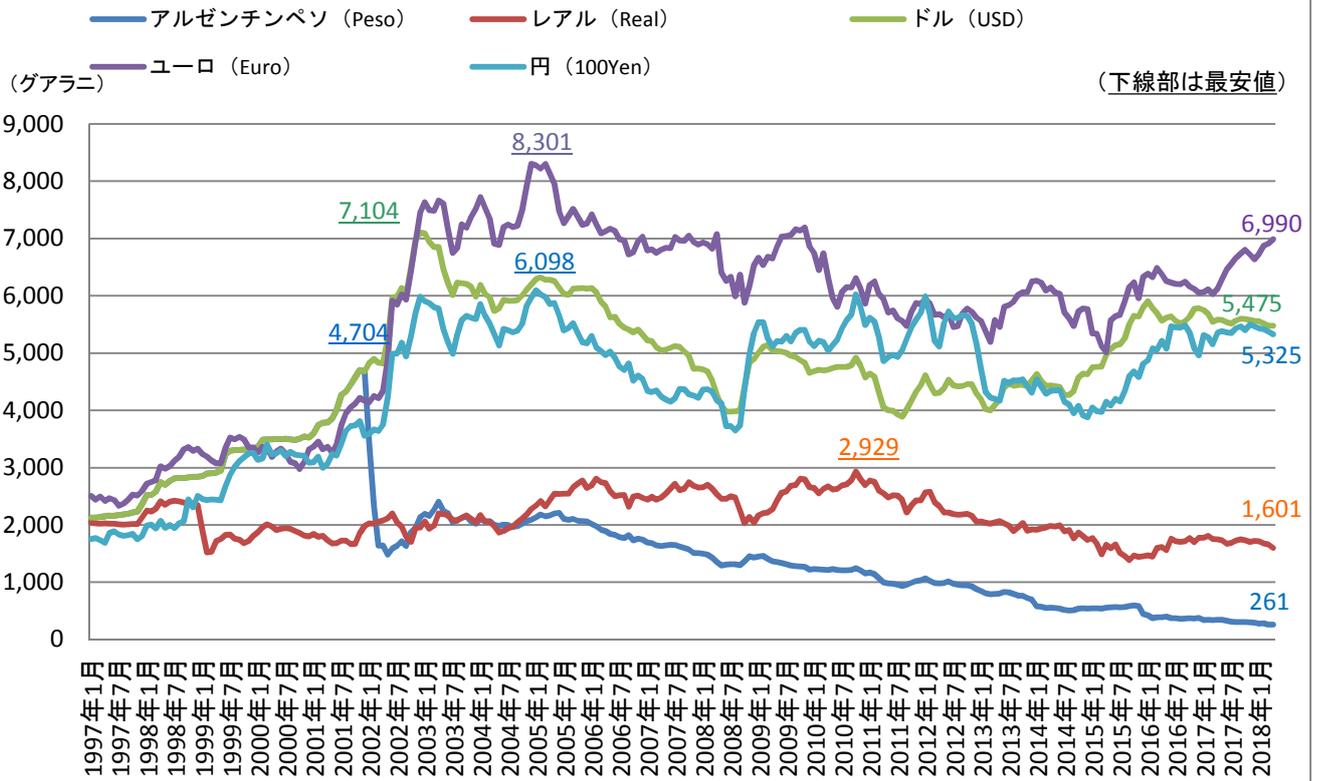
(4) 対アルゼンチンペソ(Gs/PESO)

4月の対アルゼンチンペソ為替レート(Gs/PESO)は261Gsとなった。

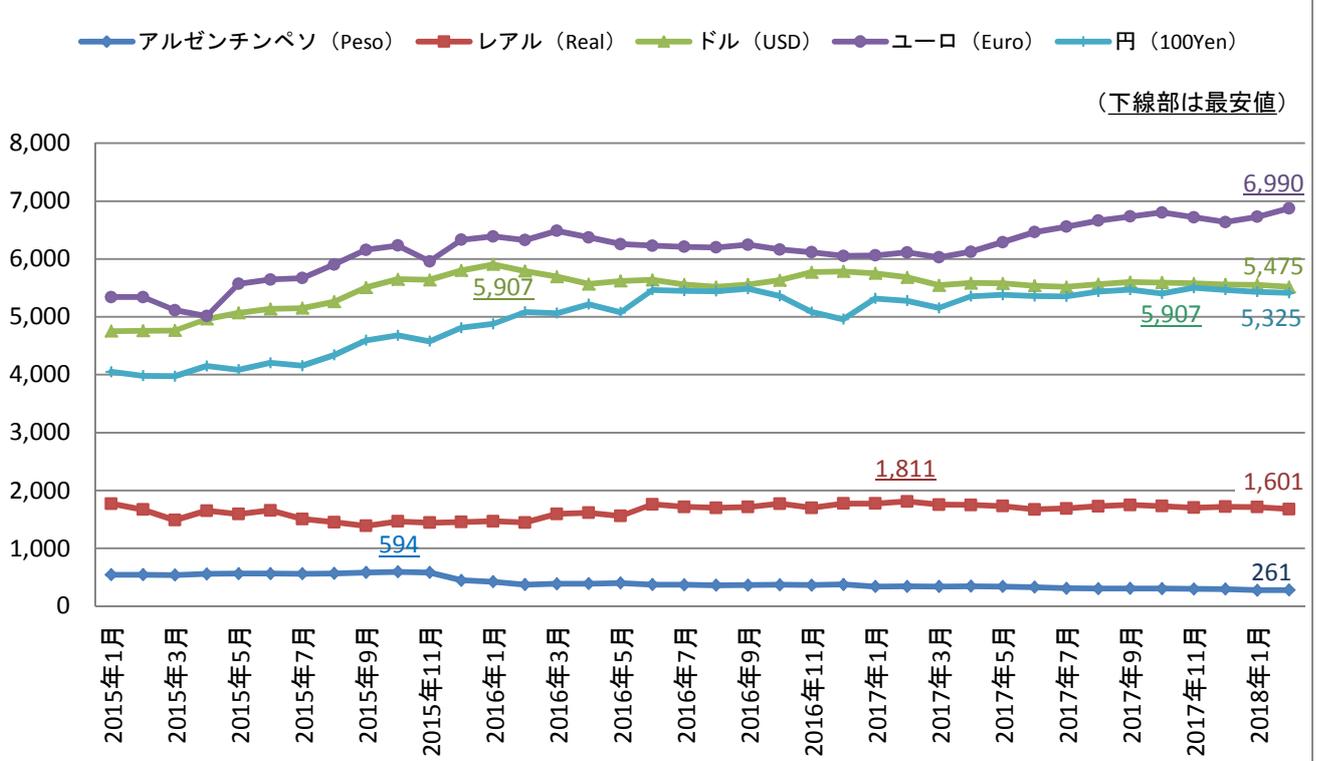
(2015年~2018年)

年/月	ドル(USD)	ユーロ(Euro)	リアル(Real)	亜ペソ(Peso)	円(100Yen)
2015年 1月	4,754	5,341	1,773	544	4,050
2015年 2月	4,760	5,341	1,669	546	3,982
2015年 3月	4,765	5,115	1,489	540	3,974
2015年 4月	4,963	5,013	1,652	557	4,149
2015年 5月	5,069	5,570	1,593	564	4,086
2015年 6月	5,137	5,645	1,657	565	4,204
2015年 7月	5,152	5,668	1,507	561	4,156
2015年 8月	5,262	5,903	1,453	567	4,341
2015年 9月	5,507	6,157	1,388	585	4,595
2015年 10月	5,651	6,233	1,466	594	4,679
2015年 11月	5,639	5,959	1,443	582	4,578
2015年 12月	5,802	6,332	1,455	447	4,813
2016年 1月	5,907	6,388	1,468	425	4,878
2016年 2月	5,792	6,325	1,448	375	5,084
2016年 3月	5,695	6,485	1,596	389	5,061
2016年 4月	5,568	6,374	1,614	390	5,216
2016年 5月	5,619	6,256	1,560	400	5,076
2016年 6月	5,639	6,230	1,761	375	5,464
2016年 7月	5,560	6,210	1,717	371	5,450
2016年 8月	5,517	6,200	1,701	362	5,445
2016年 9月	5,558	6,246	1,714	365	5,485
2016年 10月	5,633	6,163	1,772	371	5,361
2016年 11月	5,773	6,116	1,699	364	5,083
2016年 12月	5,786	6,054	1,775	376	4,957
2017年 1月	5,751	6,061	1,774	340	5,317
2017年 2月	5,682	6,113	1,811	344	5,278
2017年 3月	5,546	6,027	1,756	340	5,153
2017年 4月	5,585	6,125	1,749	347	5,356
2017年 5月	5,578	6,290	1,730	342	5,380
2017年 6月	5,537	6,463	1,672	329	5,358
2017年 7月	5,517	6,558	1,689	312	5,351
2017年 8月	5,566	6,661	1,728	306	5,434
2017年 9月	5,602	6,735	1,750	306	5,469
2017年 10月	5,592	6,804	1,730	304	5,402
2017年 11月	5,578	6,720	1,702	300	5,500
2017年 12月	5,559	6,637	1,721	296	5,467
2018年 1月	5,553	6,730	1,715	278	5,433
2018年 2月	5,516	6,875	1,677	281	5,414
2018年 3月	5,480	6,911	1,661	261	5,375
2018年 4月	5,475	6,990	1,601	261	5,325

対グアラニ為替相場(月平均値)



対グアラニ為替相場(月平均値:直近3年間)



II 消費者物価指数(パラグアイ中央銀行発表)

1 消費者物価指数概要

(1) 消費者物価指数(総合)

4月の消費者物価数(総合)は0.1%となり、年間累計値は1.4%となった。

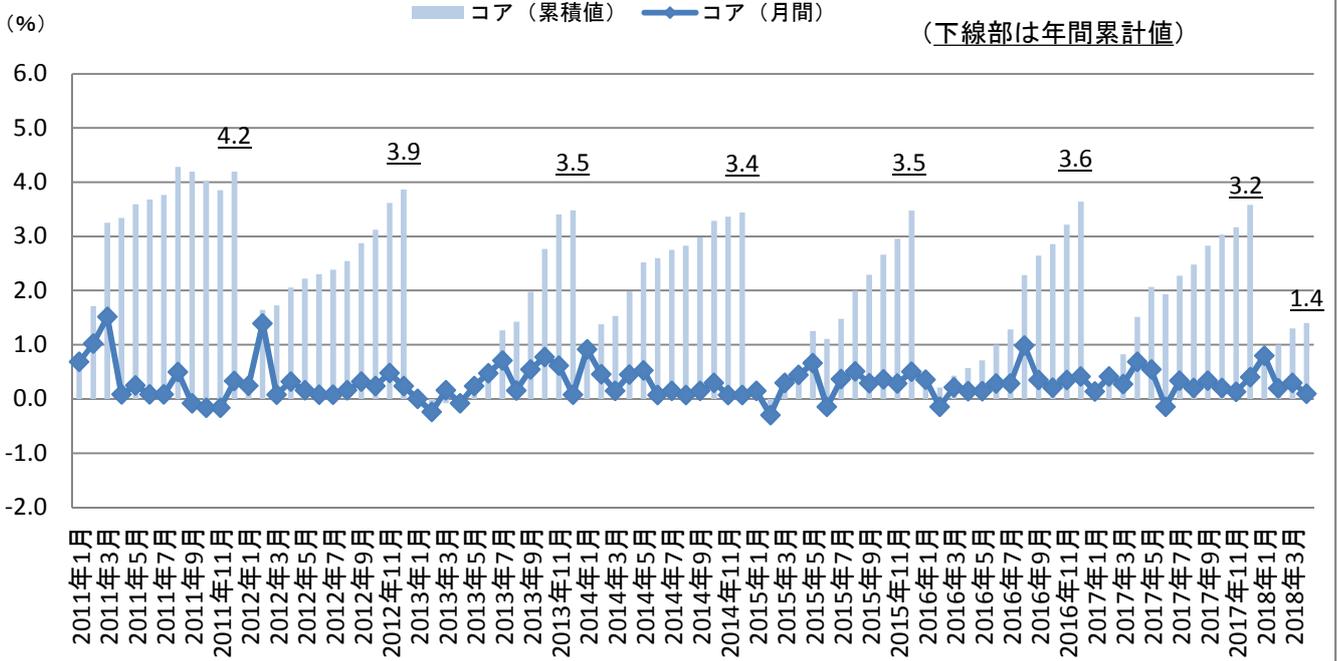
(2) コア・インフレ

4月のコア・インフレ率は0.0%となり、年間累計値は1.1%となった。

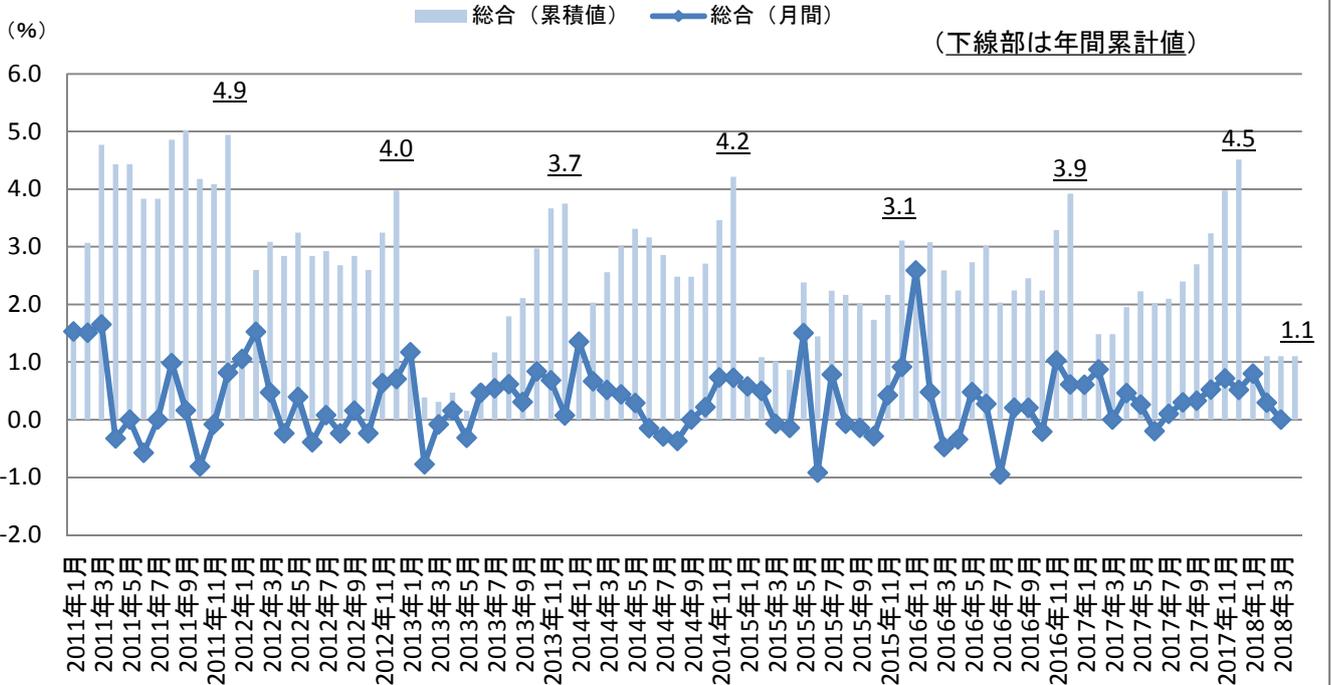
2 消費者物価指数一覧表 (2015年~2018年)

年/月	消費者物価指数(総合)(%)		コア・インフレ(%)	
	月間	累積	月間	累積
2015年 1月	0.6	0.6	0.1	0.1
2015年 2月	0.5	1.1	-0.3	-0.1
2015年 3月	-0.1	1.0	0.3	0.1
2015年 4月	-0.1	0.9	0.4	0.6
2015年 5月	1.5	2.4	0.7	1.3
2015年 6月	-0.9	1.4	-0.1	1.1
2015年 7月	0.8	2.2	0.4	1.5
2015年 8月	-0.1	2.2	0.5	2.0
2015年 9月	-0.1	2.0	0.3	2.3
2015年 10月	-0.3	1.7	0.4	2.7
2015年 11月	0.4	2.2	0.3	3.0
2015年 12月	0.9	3.1	0.5	3.5
2016年 1月	2.6	2.6	0.4	0.4
2016年 2月	0.5	3.1	-0.1	0.2
2016年 3月	-0.5	2.6	0.2	0.4
2016年 4月	-0.3	2.2	0.1	0.6
2016年 5月	0.5	2.7	0.1	0.7
2016年 6月	0.3	3.0	0.3	1.0
2016年 7月	-1.0	2.0	0.3	1.3
2016年 8月	0.2	2.2	1.0	2.3
2016年 9月	0.2	2.5	0.3	2.6
2016年 10月	-0.2	2.2	0.2	2.9
2016年 11月	1.0	3.3	0.3	3.2
2016年 12月	0.6	3.9	0.4	3.6
2017年 1月	0.6	0.6	0.1	0.1
2017年 2月	0.9	1.5	0.4	0.6
2017年 3月	0.0	1.5	0.3	0.8
2017年 4月	0.5	2.0	0.7	1.5
2017年 5月	0.3	2.2	0.5	2.1
2017年 6月	-0.2	2.0	-0.1	1.9
2017年 7月	0.1	2.1	0.3	2.3
2017年 8月	0.3	2.4	0.2	2.5
2017年 9月	0.3	2.7	0.3	2.8
2017年 10月	0.5	3.2	0.2	3.0
2017年 11月	0.7	4.0	0.1	3.2
2017年 12月	0.5	4.5	0.4	3.6
2018年 1月	0.8	0.8	0.8	0.8
2018年 2月	0.3	1.1	0.2	1.0
2018年 3月	0.0	1.1	0.3	1.3
2018年 4月	0.0	1.1	0.1	1.4

コア・インフレ率(前月比・累計値)



インフレ率(前月比・累計値)



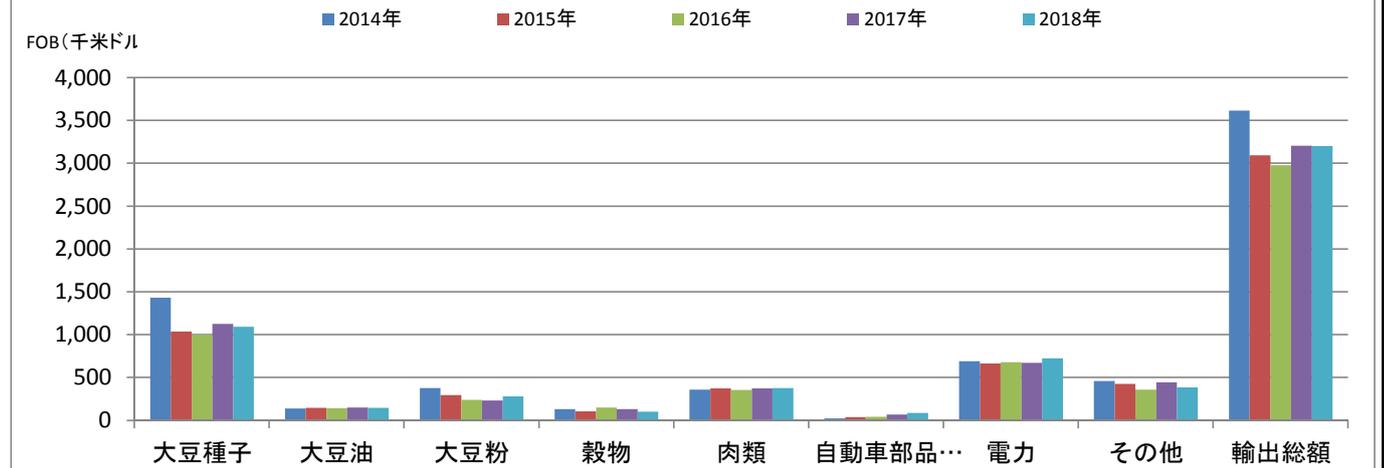
Ⅲ 貿易(パラグアイ中央銀行発表)

1 主要輸出品目別輸出総額(1月～4月)

単位(千米ドル)

年/月	大豆種子	大豆油	大豆粉	穀物	肉類	自動車部品 (ハーネス)	電力	その他	輸出総額
2014年 1月～4月	1,432,241	140,854	377,425	132,303	357,876	25,981	691,750	459,118	3,617,548
2015年 1月～4月	1,038,404	147,874	295,433	106,720	375,366	38,955	663,634	427,241	3,093,627
2016年 1月～4月	1,000,613	142,348	240,735	151,144	355,235	44,789	681,748	361,536	2,978,147
2017年 1月～4月	1,128,097	151,411	231,931	133,597	374,754	67,867	674,262	445,883	3,207,802
2018年 1月～4月	1,093,948	146,313	280,193	104,487	379,364	87,162	724,395	386,322	3,202,184
前年比度(2017/2018)	-3.0%	-3.4%	20.8%	-21.8%	1.2%	28.4%	7.4%	-13.4%	-0.2%

主要輸出品目別輸出総額(2018年1月～4月)

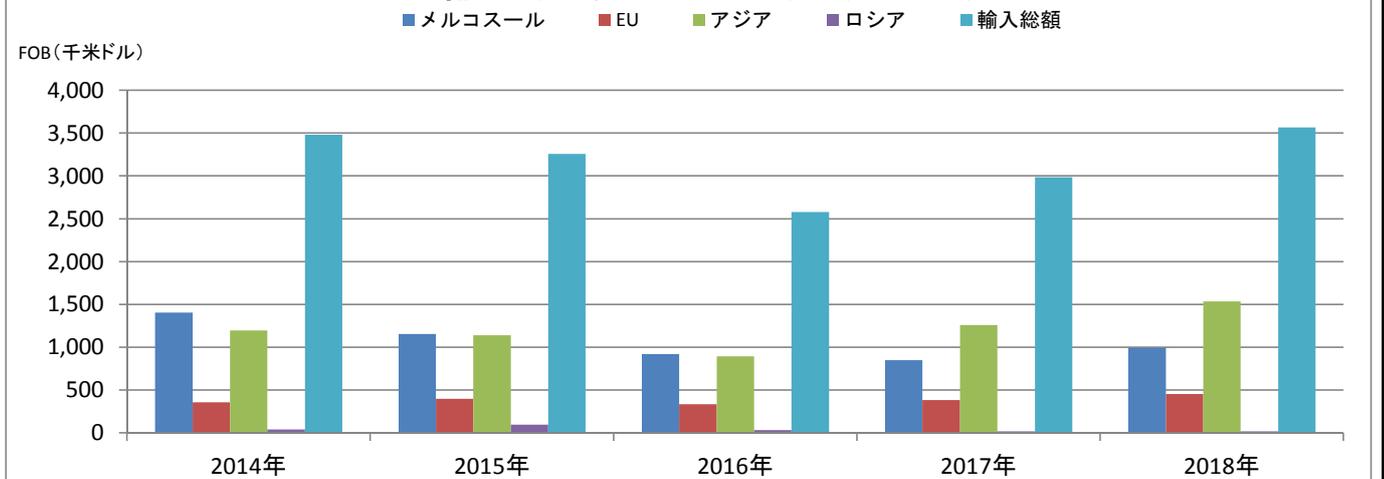


2 輸入総額(1月～4月)

単位(千米ドル)

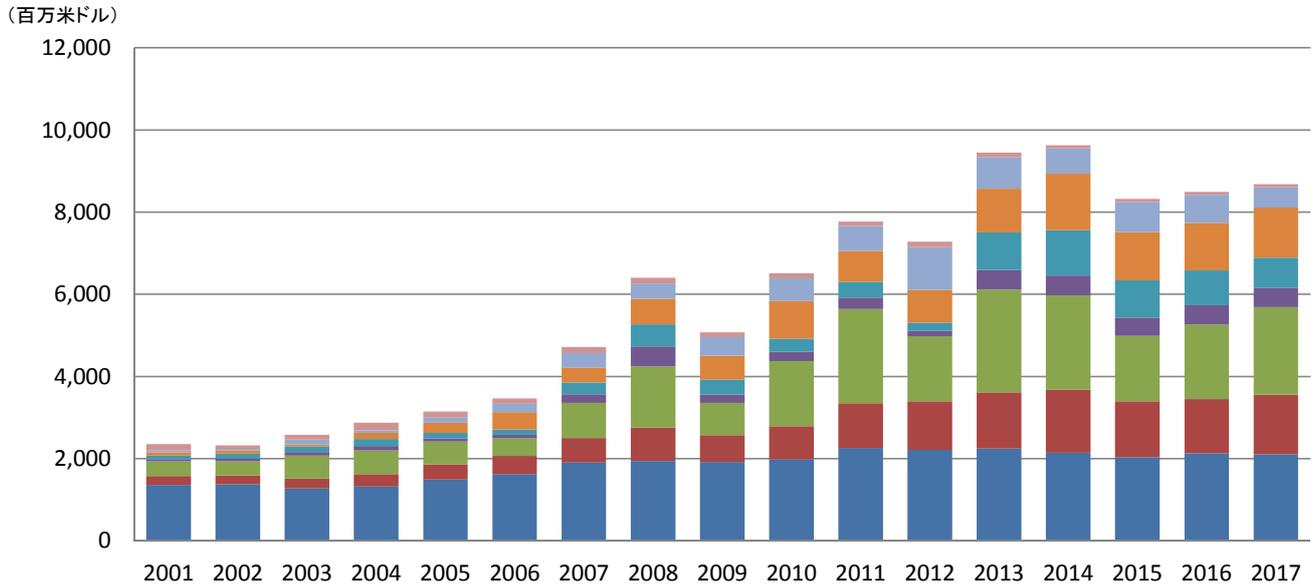
年/月	メルコスール	EU	アジア	ロシア	その他	輸入総額
2014年 1月～4月	1,405,994	358,459	1,197,598	42,310	478,206	3,482,567
2015年 1月～4月	1,155,470	397,076	1,141,361	95,721	468,690	3,258,318
2016年 1月～4月	920,286	334,513	893,704	34,409	396,631	2,579,542
2017年 1月～4月	848,366	383,824	1,259,155	17,266	476,786	2,985,397
2018年 1月～4月	997,034	453,583	1,537,087	18,101	563,792	3,569,595
前年比度(2017/2018)	17.5%	18.2%	22.1%	4.8%	18.2%	19.6%

域別輸入総額(2018年1月～4月)



主要輸出品目別

■ 電力 ■ その他（工業産品含） ■ 大豆種子 ■ 大豆油 ■ 大豆粉 ■ 肉類 ■ 穀物類 ■ その他農産品

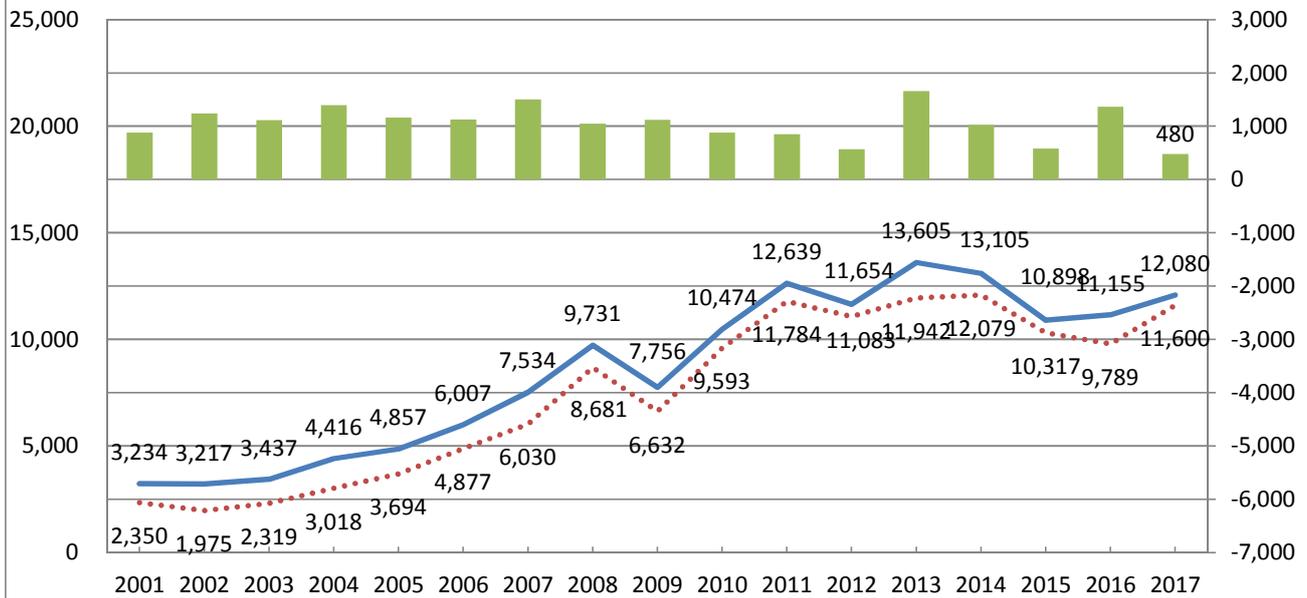


貿易(輸出入総額・貿易収支)

輸出入
(百万米ドル)

■ 貿易収支 ■ 輸出

貿易収支
(百万米ドル)



IV 外貨準備高(パラグアイ中央銀行発表)

1 外貨準備高概要

4月末の外貨準備高は、約8,841百万米ドルであった。

2 外貨準備高一覧(年末値, 月末値)

(2014年~2018年)

(百万米ドル)

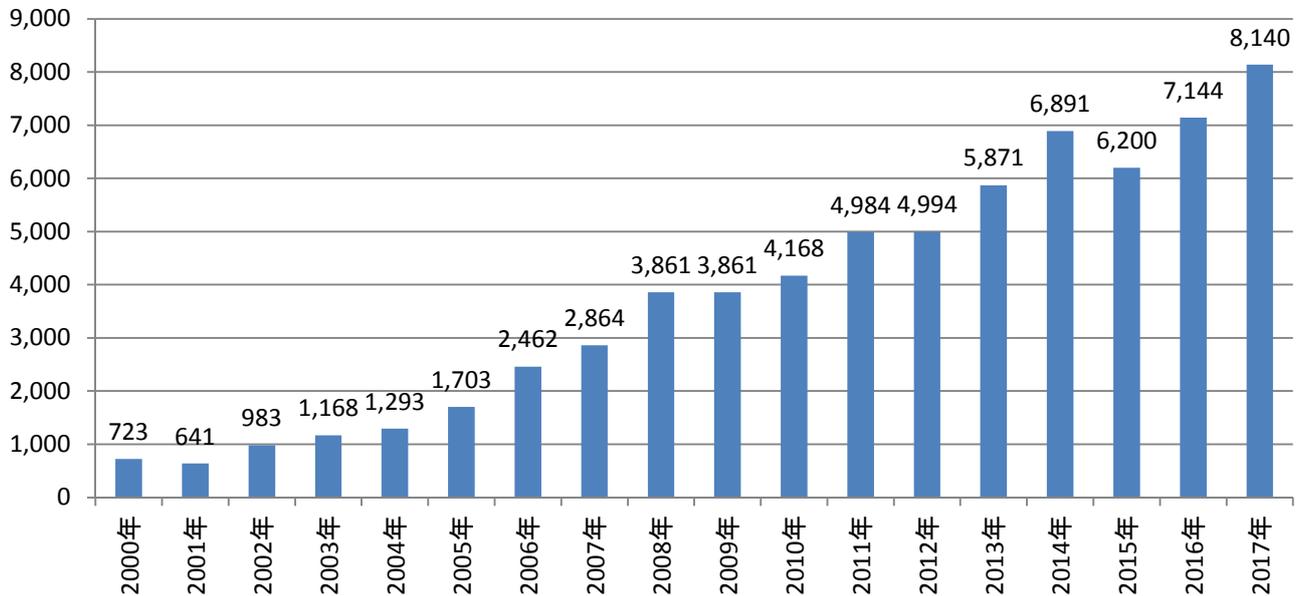
年	年末値
2000年 12月	723
2001年 12月	641
2002年 12月	983
2003年 12月	1,168
2004年 12月	1,293
2005年 12月	1,703
2006年 12月	2,462
2007年 12月	2,864
2008年 12月	3,861
2009年 12月	3,861
2010年 12月	4,168
2011年 12月	4,984
2012年 12月	4,994
2013年 12月	5,871
2014年 12月	6,891
2015年 12月	6,200
2016年 12月	7,144
2017年 12月	8,140

(百万米ドル)

年	月末値
2014年 1月	5,720
2014年 2月	5,768
2014年 3月	6,022
2014年 4月	6,202
2014年 5月	6,333
2014年 6月	6,377
2014年 7月	6,275
2014年 8月	7,247
2014年 9月	7,130
2014年 10月	7,001
2014年 11月	7,050
2014年 12月	6,891
2015年 1月	6,806
2015年 2月	6,721
2015年 3月	6,672
2015年 4月	7,066
2015年 5月	7,077
2015年 6月	7,100
2015年 7月	6,902
2015年 8月	6,771
2015年 9月	6,508
2015年 10月	6,336
2015年 11月	6,247
2015年 12月	6,200
2016年 1月	6,001
2016年 2月	5,858
2016年 3月	6,633
2016年 4月	6,829
2016年 5月	6,867
2016年 6月	6,882
2016年 7月	6,851
2016年 8月	6,902
2016年 9月	7,000
2016年 10月	6,924
2016年 11月	6,896
2016年 12月	7,144
2017年 1月	7,083
2017年 2月	7,173
2017年 3月	7,803
2017年 4月	7,811
2017年 5月	7,909
2017年 6月	8,007
2017年 7月	8,016
2017年 8月	8,067
2017年 9月	8,100
2017年 10月	7,971
2017年 11月	8,020
2017年 12月	8,140
2018年 1月	8,156
2018年 2月	8,183
2018年 3月	8,771
2018年 4月	8,841

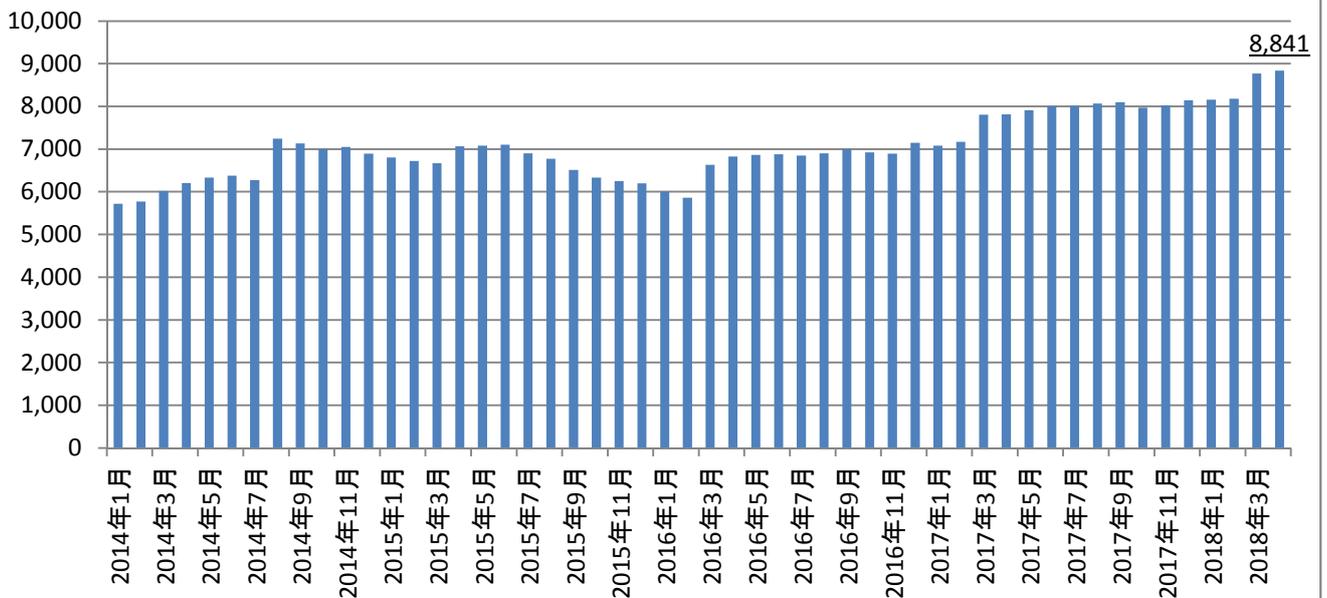
外貨準備高：年末値

(百万米ドル)



外貨準備高：月末値(2014年～2018年)

(百万米ドル)



V 対外累積債務(パラグアイ中央銀行発表)

1 対外累積債務概要

3月末の対外累積債務は、約5,616百万米ドルであった。

2 対外累積債務一覧(年末値, 月末値) (千米ドル)

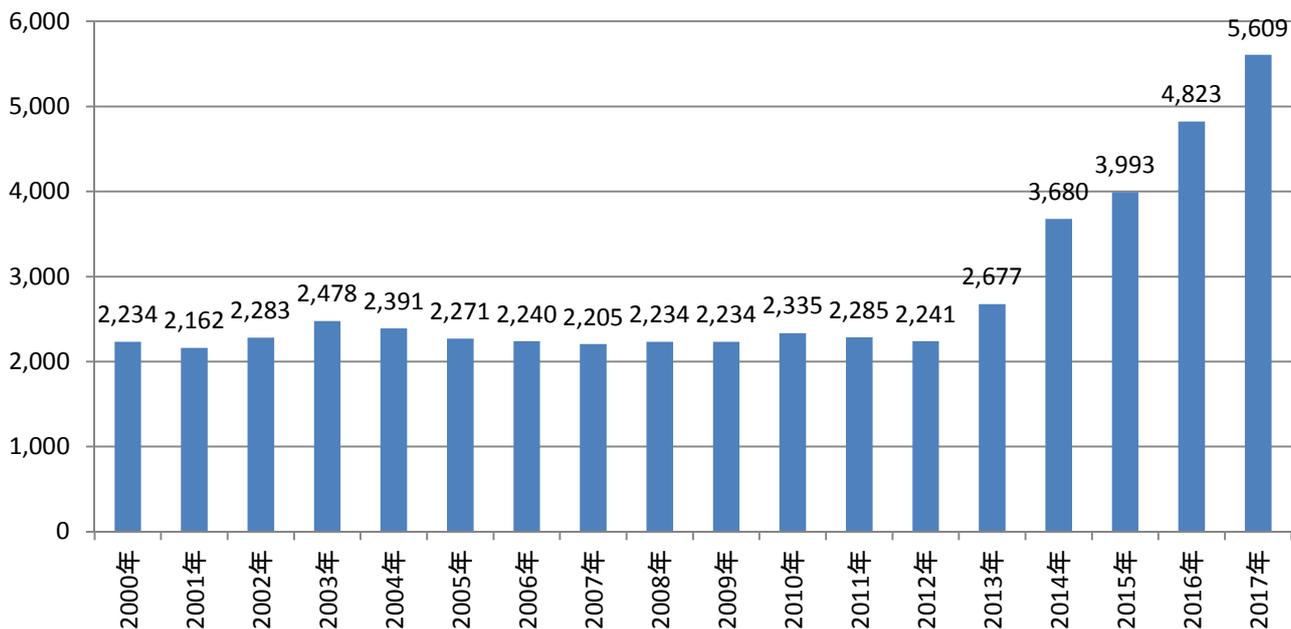
年	年末値
2000年 12月	2,234,322
2001年 12月	2,162,407
2002年 12月	2,283,051
2003年 12月	2,477,573
2004年 12月	2,390,687
2005年 12月	2,271,139
2006年 12月	2,240,448
2007年 12月	2,205,330
2008年 12月	2,234,198
2009年 12月	2,234,233
2010年 12月	2,335,425
2011年 12月	2,284,723
2012年 12月	2,241,060
2013年 12月	2,677,032
2014年 12月	3,679,598
2015年 12月	3,993,084
2016年 12月	4,822,606
2017年 12月	5,608,640

(2014年~2018年) (千米ドル)

年	月末値
2014年 1月	2,664,342
2014年 2月	2,656,189
2014年 3月	2,681,312
2014年 4月	2,690,146
2014年 5月	2,683,411
2014年 6月	2,677,604
2014年 7月	2,660,660
2014年 8月	3,648,831
2014年 9月	3,629,087
2014年 10月	3,628,449
2014年 11月	3,604,216
2014年 12月	3,679,598
2015年 1月	3,679,212
2015年 2月	3,670,452
2015年 3月	3,665,989
2015年 4月	3,931,070
2015年 5月	3,932,823
2015年 6月	3,934,322
2015年 7月	3,913,548
2015年 8月	3,918,582
2015年 9月	3,923,794
2015年 10月	3,907,839
2015年 11月	3,901,630
2015年 12月	3,993,084
2016年 1月	3,979,611
2016年 2月	3,976,494
2016年 3月	4,571,208
2016年 4月	4,632,521
2016年 5月	4,645,744
2016年 6月	4,661,321
2016年 7月	4,664,740
2016年 8月	4,652,052
2016年 9月	4,656,467
2016年 10月	4,656,042
2016年 11月	4,671,876
2016年 12月	4,822,606
2017年 1月	4,829,851
2017年 2月	4,833,956
2017年 3月	5,351,630
2017年 4月	5,344,427
2017年 5月	5,472,838
2017年 6月	5,533,131
2017年 7月	5,540,885
2017年 8月	5,579,692
2017年 9月	5,579,692
2017年 10月	5,535,177
2017年 11月	5,578,579
2017年 12月	5,608,640
2018年 1月	5,600,961
2018年 2月	5,612,175
2018年 3月	5,616,269

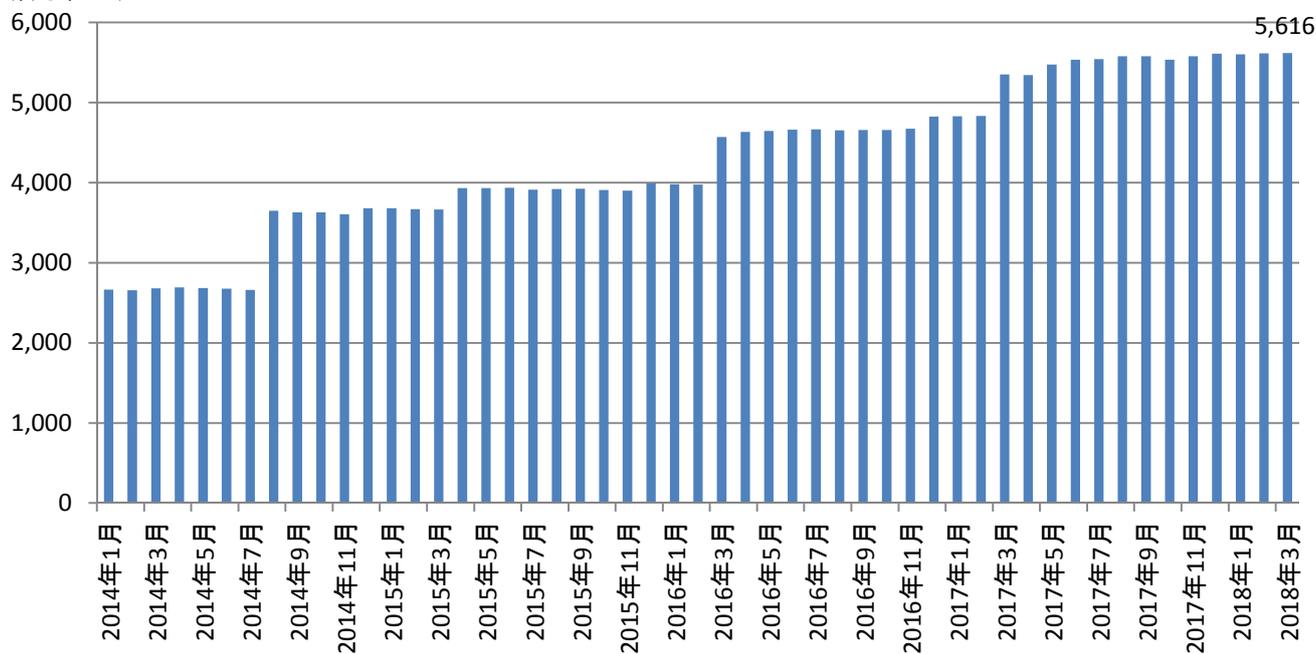
対外累積債務：年末値

(百万米ドル)



対外累積債務：月末値(2014年～2018年)

(百万米ドル)



VI 最低賃金・失業率

1 最低賃金の推移

2016年11月までは、直近の最低賃金改定月以降の消費者物価指数を累計し、右累積値が10%を超えるごとに、最低賃金を改定していたが、法律第5764号(2016年11月発布)が施行されたことにより、最低賃金は、消費者物価指数に応じ、毎年6月に改定される。2017年6月の改定では、最低賃金は3.9%引上げられ、2,041,123グアラニとなった。

(1) 最低賃金の改定歴

期間	最低賃金(グアラニ)	増加率
2005/1/1 ~ 2005/3/31	972,413	
2005/4/1 ~ 2006/3/31	1,089,103	
2006/4/1 ~ 2007/9/30	1,219,795	
2007/10/1 ~ 2009/4/30	1,341,775	
2009/5/1 ~ 2010/6/30	1,408,864	
2010/7/1 ~ 2011/3/31	1,507,484	10%
2011/4/1 ~ 2014/2/28	1,658,232	10%
2014/3/1 ~ 2016/11/30	1,824,055	7.7%
2016/12/1 ~ 2017/6/30	1,964,507	3.9%
2017/7/1 ~	2,041,123	-

2 失業率

失業率(年末値)推移: 全国

期間	失業率(%)
2010年	6.0
2011年	6.0
2012年	7.9
2013年	8.1
2014年	6.5
2015年	5.3
2016年	6.0
2017年	

出典: DGEEC: ENCUESTA PERMANENTE DE HOGARES

失業率(四半期)推移: アスンシオン市及び大都市圏

期間	失業率(%)
2014年第1四半期	9.1
2014年第2四半期	7.7
2014年第3四半期	7.7
2014年第4四半期	6.5
2015年第1四半期	7.6
2015年第2四半期	6.7
2015年第3四半期	6.0
2015年第4四半期	5.5
2016年第1四半期	7.6
2016年第2四半期	8.9
2016年第3四半期	6.9
2016年第4四半期	7.4
2017年第1四半期	8.4
2017年第2四半期	8.9
2017年第3四半期	7.6
2017年第4四半期	

出典: DGEEC, ENCUESTA CONTINUA DE EMPLEO

VII 実質GDP・名目GDP・経済成長率(パラグアイ中央銀行発表)

1 実質GDP(基準:1994年)・名目GDP

単位:千米ドル

年	名目GDP	実質GDP (基準:1994年)
2000	8,207,164	8,588,449
2001	7,662,152	8,516,817
2002	6,326,170	8,514,994
2003	6,588,266	8,882,905
2004	8,060,401	9,243,322
2005	8,772,074	9,440,527
2006	10,662,013	9,894,345
2007	13,837,526	10,430,779
2008	18,504,761	11,094,084
2009	15,954,961	10,654,127
2010	20,028,376	12,049,072
2011	25,149,416	12,572,292
2012	24,690,711	12,416,525
2013	28,914,736	14,159,343
2014	30,657,222	14,827,994
2015	27,373,818	15,267,234
2016	27,645,140	15,880,909
2017※	29,734,895	16,560,309

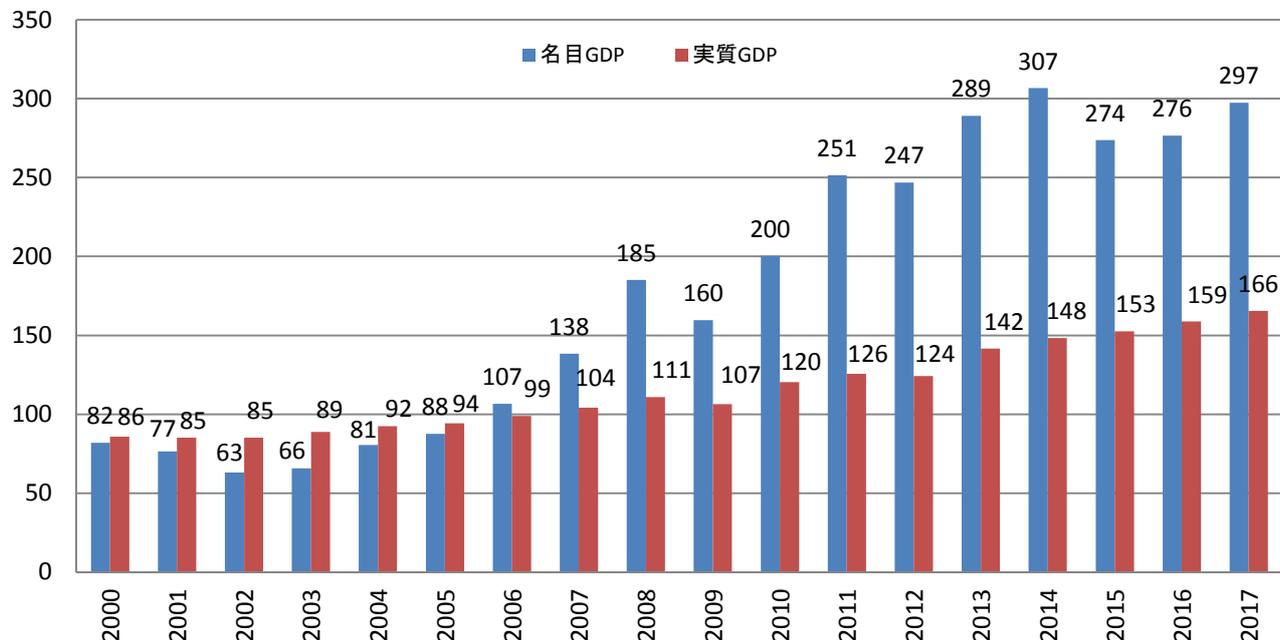
※暫定値

単位:%

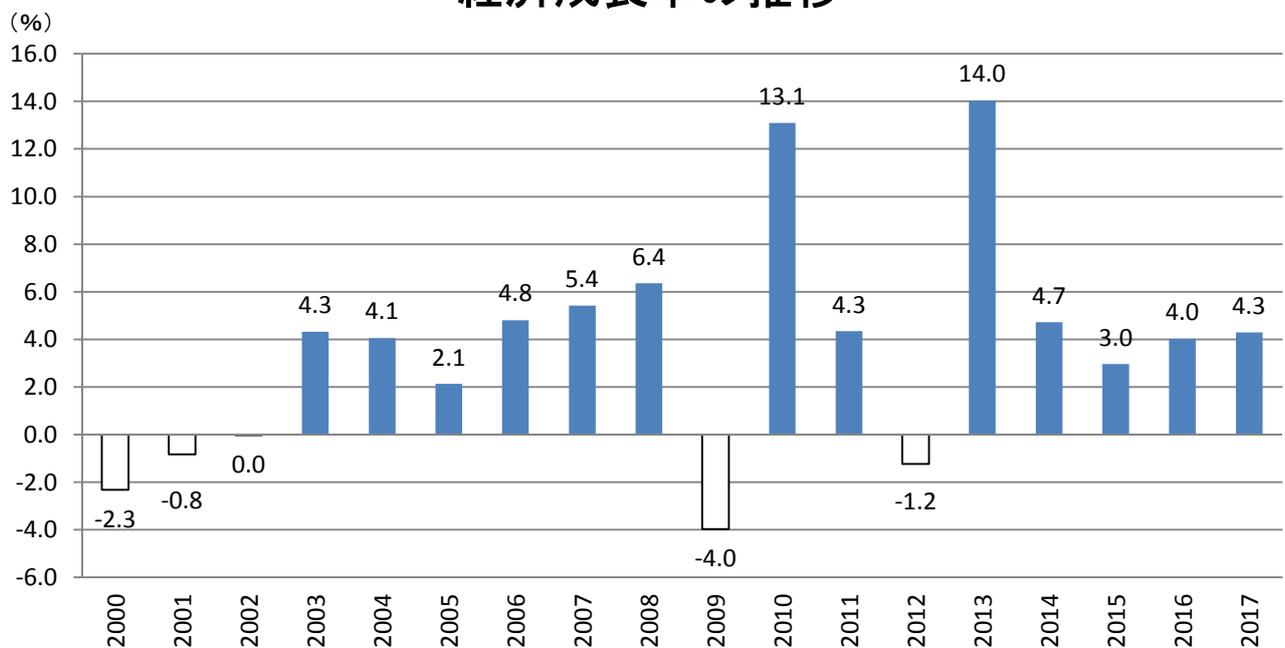
年	経済成長率
2000	-2.3
2001	-0.8
2002	0.0
2003	4.3
2004	4.1
2005	2.1
2006	4.8
2007	5.4
2008	6.4
2009	-4.0
2010	13.1
2011	4.3
2012	-1.2
2013※	14.0
2014※	4.7
2015※	3.0
2016※	4.0
2017※	4.3

(億米ドル)

名目GDPと実質GDPの推移



経済成長率の推移



Ⅶ 4月 の経済トピックス

1 ヒメネス財務大臣の台湾訪問

12日、ヒメネス財務大臣は台湾政府の招聘により同国を公式訪問し、蔡英文台湾総統を表敬した。両者は、両国の強固な経済、貿易及び外交関係につき意見を交わすとともに台湾の教育及び保健といった社会保障へのパラグアイの関心につき言及した。両国間には、貿易・投資をよりいっそう強化する経済協力協定が結ばれており、また台湾はパラグアイに対する奨学金プログラムの割当及び牛肉輸入の割当量を拡大し続けている。

会談において、両者はパラグアイの経済・社会分野における発展及びめざましい経済状況に言及するとともに、いくつかの分野における挑戦についても意見を交わした。

2 第二弾「アウト・ファミリアル(ファミリーカー)」プログラム開始

16日、商工省及びパラグアイ勲業銀行(BNF)は、「アウト・ファミリアル(ファミリーカー)」プログラムを発表した。本プログラムは一定の要件を満たした新車購入者に対して、一定金額までBNFが融資するもの。昨年12月に第一弾を行っており、今回のプログラムが2回目となる。今回のプログラムでは、融資額上限を前回6000万グアラニー(約11,000米ドル)から1億グアラニー(約18,000米ドル)まで引き上げた。本引上げにより、必然的に前回よりもハイモデルの購入が可能になる。本プログラムを実施している企業(ディーラー及びメーカー)は、チャコメル、AMレグラ、フィアット、JAC、フォード、シボレー、フォルクスワーゲン及びルノー。

本プログラム開始式典において、レイテ商工大臣は、前回、申し込みが殺到し参加企業の在庫がなくなるほどの成功を取めたことを強調し、「(前回のプログラムの成果は)いかにパラグアイ人が新車を欲していたかを象徴するものであった。参加企業、BNF及び政府の協力のもと本プログラムを実施し、人々に新車を提供することができた。もし何も売れていなかったら、この第二弾はなかったであろう」と述べた。市場の要望を受けて、上記の通り融資上限額を引き上げ、金利を8.5%に据え置いた。

また、同大臣は、自動車の組立工場の労働力として、パラグアイ及びブラジルの人々に向けた雇用創出に寄与した旨強調した。加えて、同大臣は、「4ヶ月前(第一弾プログラム実施時)、BNFは自動車への融資をしていなかったが、いまや専用の部署があり、幹部職員がいる。これはパラグアイ国民が(自動車を持つという)夢を持つためである」と述べ、BNFの本プログラム限定の融資枠組を強調した。

前回(昨年12月から本年3月まで)、BNFは本プログラムにおいて900件の融資を承認し、参加企業は1500台の新車を売り上げた。

3 信用格付会社フィッチ社は次期政権発足を前にパラグアイをポジティブに評価

フィッチ社は、23日付けで発出された報告書において、パラグアイ次期政権は、カルテス政権と同様の財政政策を維持し、経済政策に関しても大きな変化はない旨予測した。報告書は財政基盤の増強、脱税取り締まり及び教育支出増加といった次期政権の政策につき言及し、また、次期政権の司法制度改革及び公的機関の効率性向上は国の指標を向上させる可能性がある旨述べた。

パラグアイの現状に関して、フィッチ社は債務の対GDP比割合は同等レベルの諸国と比較して低い状況を維持している旨強調するとともに、財政責任法が功を奏し、財政赤字が対GDP比1.4%と直近2年間でもっとも低くなっている旨述べた。

GDP成長率に関しては、同社はパラグアイが南米でもっとも高く評価されており、同地域の平均(成長率3.3%・BB評価)を超えていることを強調し、強固な成長傾向が見られる旨指摘した。

次回のGDP値の見直しで上昇が見られた場合、パラグアイの信用情報におけるいくつかの項目が向上することもあり得る。具体的には、GDPが向上すると、一人あたりのGDPが向上し、対GDP比債務の割合が減少する。

フィッチ社は昨年12月、パラグアイの評価を「安定」から「ポジティブ」に見直している。

また、報告書においては、フィッチ社は、次期政権における低い財政赤字・債務を維持した経済政策、統治能力指数の向上、並びに経済成長の強固で安定した変動の少ない数値が継続すれば、パラグアイがよりよい格付を得ることも可能である旨述べた。

4 約80万人の労働者が中小企業(零細含む)に従事 ILO報告

国際労働機関(ILO)は、今月発行された報告書のなかで、パラグアイの中小企業の状況にかかる分析を発表した。同報告書は、当該種別の企業における高いインフォーマル・レベルを指摘する一方、圧倒的な労働力の量につき言及した。

同報告書では、パラグアイの中小企業の現状及び雇用フォーマル化の政策について言及し、約22万の中小企業(フォーマル)があり、人口の30%にあたる約80万人が当該種別の企業活動に従事している。

ILOは、「パラグアイでは人口の10人に1人もの人々が零細企業に従事していることは興味深いことである。より規模の小さい零細企業の労働者人口は中小企業のなかでも多いにもかかわらず、売上は非農業経済のうち11.3%にとどまる。」と指摘している。

同報告書のデータによれば、中小企業は4,381万米ドルの経済を動かしている。中小企業のなかでも格差があり、国内外の市場に進出している企業もあれば、生活をなんとか維持しているレベルの企業も混在している。

<高いインフォーマル主体の割合>中小企業の約77%は税制上の登記がなされおらず、最もインフォーマル主体が多いセクターは農林水産業であり、同産業の中小企業の約93%がインフォーマルであるとされている(商業の中小企業のうち約76%、サービス業の当該種別企業のうち78.1%、製造業の当該種別企業のうち70%がインフォーマルとされている)。

<生産性の低さ>中小企業の1時間あたりの生産性は2万4千グアラニー(約4.3米ドル)と、20名以上を雇用する企業の生産性(約7.4%)と比較し低い。ひとりあたりの年間売上に関して、中小企業は2億3200万グアラニー(4万2182米ドル)と大企業の売上7億7000万グアラニー(12万7000万米ドル)と比較し低い。

また、ILOは、政府プログラムの企業革新に対する支援範囲は、南米で最も低い旨指摘している。

5 粉ミルクの輸出増加

今月発表されたラドランド協同組合の報告によれば、第一四半期における粉ミルクの輸出が昨年同期比25%増加した。同組合は、1月から3月の間、825トンの乳製品を4カ国に輸出した。なお、昨年は660トンであり、ブラジルのみへの輸出であった。本年はブラジルに加えて、レバノン、ポリビア並びにシリアに輸出している。

同組合の広報担当者は、乳製品を外国市場に輸出したことによる今回の成長は当業界にとって朗報である旨述べるとともに、乳製品の国際的な需要は高く、相場も高くなっている旨述べた。同担当者は、弊社にとって重要性をもつ国内需要を軽視することなく、無関税である台湾といった市場を含んだ国際市場を開拓していくことが重要である旨強調した。